

科目名	ビジネスマナーⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2025		
受講条件			開設時期	1後	教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人になる前に必要な心構えを理解し、社会人として相応しい言葉遣いを学び、コミュニケーションが取れるようにする。また電話対応の基礎的な技能が身につくよう指導する。							
授業の一般目標	ビジネスマナーと電話対応技能を身につける。							
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)	教本『実践ビジネスマナー』、学習プリント、電話対応機							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点		テキストや学習プリント教材の基本的な内容を読み取ることができる						
□ 思考・判断の観点		基本的な知識を元に、演習問題、ロールプレイングに柔軟に取り組む						
□ 関心・意欲の観点		マナーや電話対応などの技能の必要性を理解し、会得したいという気持ちが表れている						
□ 態度の観点		授業中に私語、居眠りをせず、積極的に取り組む姿勢を示す						
□ 技能・表現の観点		基本的な知識を元に、電話や来客、訪問などで適切な対応、接遇ができる						
授業計画(全体)								
教本『実践ビジネスマナー』を中心に、社会人としての基本的なマナーを理解身につけられるよう指導する。まずは2年生次に自信を持って就職活動に臨めるよう、とくにお辞儀のしかた、敬語の正しい使い方、電話対応に焦点を当てる。授業の始めと終わりのお辞儀を確実に行わせることとする。電話対応は電話対応機を用いて、一人づつ個別に指導する。さらに訪問時のマナーとそれに伴う席次、名刺交換等の作法もその必然性と共に覚えさせる。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	第1章 社会人の心構え / 2章 基本動作							
3～4	第3章 言葉遣い(敬語の種類と使い分け)							
5～6	第3章 言葉遣い(間違いやすい敬語)							
7～8	第3章 言葉遣い(感じの良い言葉遣い)☑							
9～10	第5章 電話対応(電話の基本マナーと応対用語)							
11～12	第5章 電話対応(電話の受け方)							
13～14	第5章 電話対応(ロールプレイング:不在時の取り次ぎ)							
15～16	第5章 電話対応(ロールプレイング:不在時の取り次ぎ)							
17～18	第5章 電話対応(ロールプレイング:伝言をさく)							
19～20	第5章 電話対応(携帯電話のマナー)							
21～22	第6章 訪問のマナー(アポイントメントをとる)							
23～24	第6章 訪問のマナー(応接室にて)							
25～26	第6章 訪問のマナー(席次、名刺)							
27～28	期末試験							
29～30	試験ふり返り							
成績評価方法								
1 出席状況、授業中の姿勢								
2 学習プリントの記入内容が適切かどうか、文字は丁寧かどうか								
3 電話対応や面接のロールプレイング等、実技の取り組みの姿勢								
4 期末試験の得点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						60%	秀、S(4):90点以上
小テスト		○					10%	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○					10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○				5%	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習				○	◎		15%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	(公・財)日本電信電話ユーザ協会 電話応対技能検定指導者級保持者 (一・社)日本ホテルレストランサービス技能協会 食卓作法認定講師として、企業研修などに当たる。			

科目名	飼養管理学Ⅰ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬と猫について学ぶ。犬と猫の飼養管理について学び、人に説明できるようになる事を目的とする 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士２級							
授業の一般目標	犬猫の飼養管理について人に説明できるようになる							
受講条件	ペット総合学科１年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） パワーポイント、プリントなど							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	犬と猫が違う生き物であることを理解する							
☐ 思考・判断の観点	犬と猫の特徴を理解したうえで正しい飼養管理を検討できる							
☐ 関心・意欲の観点	実習に必要な基礎的内容を覚えて実施できる							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
犬と猫の違いから学び動物を扱う上で必要な知識を身に付ける。 動物に係わる仕事に就く者として適正飼養について学び、関わる事柄について学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	犬とは①							
3～4	犬とは②							
5～6	猫とは①							
7～8	猫とは②							
9～10	保定とバイタル							
11～12	薬剤と消毒							
13～14	薬浴							
15	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100	秀、S（４）：９０点以上
小テスト								優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、B（２）：７０点以上
授業態度								可、C（１）：６０点以上
発表・作品								不可、E（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴１２年 愛玩動物看護師			

科目名	飼養管理学Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ペットや動物業界に関わる内容について学ぶ。ペット業界について広い知識を持ち、説明できるようになる 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペット業界について興味を持つ							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） パワーポイント、VTR							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	愛玩動物から産業動物まで広い知見を身に付けている							
☐ 思考・判断の観点	愛玩動物に係わる正しい知識を身に付け人に説明できる							
☐ 関心・意欲の観点	愛玩動物に係わる現状に興味関心を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士取得に必要な知識をテキストやPowerPoint、関連VTRを用いて学んでゆく								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	犬の飼養管理							
3～4	猫の飼養管理							
5～6	愛玩動物の使用について							
7～8	社会における動物の役割							
9～10	適正飼養の推進							
11～12	動物福祉倫理							
13～14	産業実験動物の福祉							
15～16	危機管理と支援①							
17～18	危機管理と支援②							
19～20	動物愛護管理行政							
21～22	問題行動の予防①							
23～24	問題行動の予防①							
25～26	問題行動の予防②							
27～28	期末試験							
29～30	期末試験解答解説							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介		動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師			

科目名	ドッグトレーニング	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬のしつけ（実技）を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触ることができるようにする							
受講条件	ペット総合学科1年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 犬のしつけ、訓練について説明ができる								
☑ 思考・判断の観点 その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる								
☑ 関心・意欲の観点 犬の行動について理由を考えることができる								
☑ 態度の観点 どのような犬でも冷静に対処できる								
☑ 技能・表現の観点 自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる								
授業計画（全体）								
座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	犬の本能について（座学）							
5～8	犬の習性について（座学）							
9～12	「歩く」練習 1							
13～16	「歩く」練習 2							
17～20	「歩く」練習 3							
21～24	「触る」練習 1							
25～28	「触る」練習 2							
29～32	実技試験							
成績評価方法								
1 単元末の実技試験 2 授業態度や積極性 3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	○				◎		20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はG P点数
担当教員	末岡 賢志			実務経験紹介	家庭犬訓練士 嘱託警察犬訓練士 ドッグスクールSue http://dogschoolsue.com/			

科目名	トリミング学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	トリミング座学、犬種ごとのカットを座学にて実施（テキストを用いる） 教員によるウィッグを用いた実演 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	トリミング犬種のカット手順が理解できている							
受講条件	ペット総合学科1年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	グルーミング犬種、トリミング犬種のカットが理解できている							
☐ 思考・判断の観点	トリミング実習にて担当犬のカットが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	自ら進んでノートを取ることが出来る							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
グルーミング犬種やトリミング犬種について講義と実演を用いて展開していく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	基本（検体名称、骨格）道具の使い方							
3～4	ポメラニアン・チワワのカット							
5～6	トイ・プードルのカット							
7～8	ミニチュア・シュナウザーのカット							
9～10	マルチーズ・シーズーのカット							
11～12	ヨークシャーテリアのカット							
13～14	その他の犬種							
15	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎		◎				50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○							優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○	○				50%	良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	動物臨床栄養学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物の食について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペットの食や栄養を知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の食事や栄養について知る								
☒ 思考・判断の観点 動物それぞれの必要な栄養素がわかる								
☒ 関心・意欲の観点 動物の栄養について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 五大栄養素について学び、犬と猫の栄養における相違点を学ぶ。BCSや給与法、おやつについても学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	栄養学総論							
3～4	栄養学各論 炭水化物							
5～6	栄養学各論 ミネラル、脂質1							
7～8	栄養学各論 脂質2、ビタミン							
9～10	栄養学各論 タンパク質							
11～12	犬と猫の食性の違い エネルギー1							
13～14	犬と猫の食性の違い エネルギー2							
15～16	ペットフード1							
17～18	ペットフード2 BCS							
19～20	食事の給与方法							
21～22	ライフステージ1							
23～24	ライフステージ2							
25～26	病態に応じた食事管理1							
27～28	病態に応じた食事管理2							
29～30	単元末テスト							
成績評価方法								
1 単元末試験 2 冬休みの課題 3 授業態度 4 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介	なかの動物病院 https://nakanoah.info/			

科目名	動物感染症学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	感染症を防ぎ治療するために病原体の種類や特徴、感染方法や特徴的な症状を知る 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	動物の感染症を正しく知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の感染症について知る								
☒ 思考・判断の観点 動物の感染症を見分けることができる								
☒ 関心・意欲の観点 動物の感染症について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 基礎用語を学び、代表的な犬猫の感染症について学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	ガイダンス 総論1							
5～8	ガイダンス 総論2							
9～12	ウイルス各論							
13～16	細菌							
17～20	細菌							
21～24	真菌、リケッチャ							
25～28	ワクチンについて							
29～32	寄生虫とは何か							
33～36	糸虫							
37～40	吸虫							
41～44	原虫							
45～48	外部寄生虫症1							
49～52	外部寄生虫症2							
53～56	外部寄生虫症3							
57～60	単元末試験、解答解説							
成績評価方法								
1 単原末試験								
2 夏休みの課題								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介	なかの動物病院 https://nakanoah.info/			

科目名	造形・美術	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・トリミングに活かせる立体・空間感覚を養う。 ・色彩の学習をとおして配色などの美的感覚を養う。 ・芸術作品の鑑賞をとおして美的教養を高める。							
授業の一般目標	造形美術に関する造詣を深める。							
受講条件	ペット総合学科 1 年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	主に自作資料による。							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点		透視図法などを活用して立体物を描くことができる。色彩の基本的な知識を身に付ける。美術の歴史等について大まかな知識を身に付ける。						
□ 思考・判断の観点		透視図法などを理解し作画に活かすことができる。不安定な形などに気づき修正することができる。						
□ 関心・意欲の観点		身の回りの色彩や形体に興味をもち、積極的に観察しようとする。						
□ 態度の観点		絵画や立体の制作や芸術作品の鑑賞などに積極的に取り組む。						
□ 技能・表現の観点		透視図法などを活用して立体物を描くことができる。意図に応じた配色を工夫することができる。美術作品を鑑賞して感想・意見等をもつことができる						
授業計画（全体）								
作図、作画、立体造形、工芸制作などを通して美的感覚、立体感覚、色彩感覚、鑑賞眼等を養う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
①②	オリエンテーション、立体造形							
③④	透視図法、作図							
⑤⑥	絵画作品と透視図法							
⑦⑧	だ円と静物デッサン							
⑨⑩	グラデーションと陰影							
⑪⑫	絵画作品の鑑賞							
⑬⑭	工芸制作							
⑮	前期テスト							
⑯⑰	色彩、配色							
⑯⑰	針金彫刻							
⑱⑲	粘土彫刻							
⑳㉑	工芸制作							
㉒㉓	美術造形作品の鑑賞							
㉔㉕	犬のデッサン							
㉖㉗	猫のデッサン							
㉘㉙	動物のデッサン、学習のまとめ							
㉚	後期テスト							
成績評価方法								
1 毎回の作図作画の質 2 意欲・関心・態度 3 定期試験・レポートなど 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			○		20%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○	○		○		10%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○		○	○		10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○		○	20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○		○		30%	不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○	○			10%	（ ）内はGPA点数
担当教員	須内 章雅			実務経験紹介	中学校美術科を35年指導 YICグループにて保育、デザイン科で美術・図工を5年指導			

科目名	トリミング実習Ⅰ	単位数	8	科目コード				
授業形態	演習	時間数	240	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	トリミング道具を正しく使える、犬を正しく扱える、先輩と合同でグルーミングが出来る							
授業の一般目標	グルーミングができる							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	グルーミングの必要性を理解している							
☐ 思考・判断の観点	犬種に合わせたグルーミングが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	さまざまな犬種に関心を持つ							
☐ 態度の観点	積極的に取り組める							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
道具の扱い方、生体の扱い方から指導を行い、犬も人間も安全に実習が行えることが大前提となる。基礎に重点を置き確実な指導を行っていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	道具の扱い方、実習の進め方							
3～5	AM：2年生とペアでグルーミング、PM：ハサミ練習							
6～10	AM：2年生とペアでグルーミング PM：ハサミ練習、試験							
11～15	AM：2年生とペアでグルーミング PM：ハサミ試験合格者より足回りカット							
16～20	AM：2年生とペアでグルーミング PM：グルーミング犬種のカット							
21～30	2人でグルーミング犬種ができる							
成績評価方法								
1 実習による総合的な評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	トリミング実習Ⅱ	単位数	8	科目コード				
授業形態	演習	時間数	240	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	トリミング道具を正しく使える、犬を正しく扱える、一人でグルーミングが出来る							
授業の一般目標	一人でグルーミング犬種が出来る							
受講条件	ペット総合学科1 年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	グルーミングの必要性を理解している							
☐ 思考・判断の観点	犬種に合わせたグルーミングが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	さまざまな犬種に関心を持つ							
☐ 態度の観点	積極的に取り組める							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
グルーミング犬種が仕上げられるようになることを目標とし、カット技術の向上を図っていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～10	2人または1人でグルーミング犬種を仕上げる							
11～20	2人でトリミング犬種をカットする							
21～30	1人または2人でトリミング犬種をカットする							
成績評価方法								
1 実習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	飼養管理学Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬猫以外の動物の飼養管理について学ぶ 犬猫の特別な栄養管理について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士２級							
授業の一般目標	犬や猫の飼養管理について正しく知る							
受講条件	ペット総合学科２年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物飼養管理士２級テキスト							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	犬猫以外の代表的な動物の飼養管理を知る							
☒ 思考・判断の観点	状況に応じた飼養管理を導き出すことが出来る							
☒ 関心・意欲の観点	犬猫以外の動物の飼養管理について興味を持つ							
☒ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士テキスト別冊を用いて犬猫以外の代表的なペットの品種や特徴、飼養管理などを学び理解を深めていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	ウサギの飼養管理①							
3～4	ウサギの飼養管理②							
5～6	ウサギの飼養管理③							
7～8	ハムスターの飼養管理①							
9～10	ハムスターの飼養管理②							
11～12	鳥類の飼養管理①							
13～14	鳥類の飼養管理②							
15～16	鳥類の飼養管理③							
17～18	カメの飼養管理①							
19～20	カメの飼養管理②							
21～22	特別療法食①							
23～24	特別療法食②							
25～26	特別療法食③							
27～28	期末試験							
29～30	期末試験解答解説							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				80%	秀、S（４）：90点以上
小テスト								優、A（３）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（２）：70点以上
授業態度				○			20	可、C（１）：60点以上
発表・作品								不可、E（０）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師			

科目名	繁殖学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬や猫の繁殖生理について学ぶ。解剖学から新生児管理までを学ぶ。 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	犬と猫の生殖方法を知り、繁殖について知る							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師の教科書1（緑書房） プリント							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 犬や猫の繁殖生理を知る								
□ 思考・判断の観点 正常と異常を知る								
□ 関心・意欲の観点 犬や猫の繁殖に関心を持つ								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。性の発生から解剖学を学び、繁殖を学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	雄の生殖器の解剖（犬・猫）							
3～4	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
5～6	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
7～8	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
9～10	性に関するホルモンと発生							
11～12	確認テスト							
13～14	避妊去勢							
15～16	出産と新生児管理							
17～18	新生児保育と発達							
19～20	生殖器の疾患（雄）							
21～22	生殖器の疾患（雄）							
23～24	生殖器の疾患（雌）							
25～26	生殖器の疾患（雌）							
27～28	遺伝性疾患							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師			

科目名	高度トリミング実習Ⅰ	単位数	9	科目コード				
授業形態	演習	時間数	270	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬種や年齢、ライフスタイルなどに応じた様々なカットを理解し、実施できる。 検定：一般社団法人 全国動物専門学校協会（AAV）トリマー1級							
授業の一般目標								
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	犬種ごとのカットスタイルを理解している							
☒ 思考・判断の観点	個体に合わせたカット方法でカットができる							
☒ 関心・意欲の観点	様々な犬種に対して積極的である							
☒ 態度の観点	積極的に実習を行えている							
☒ 技能・表現の観点	個体に合わせたスタイルを考えることができる							
授業計画（全体）								
シャンプーなどの基礎的な準備作業から仕上げまでを1人または2人でこなす。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～10	1人または2人でトリミング犬種のカットができる							
11～20	1人でトリミング犬種のカットができる							
20～30	1人でトリミング犬種を仕上げることができる							
30～34	1人または2人で複数頭の犬を仕上げることができる							
成績評価方法								
1 演習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	高度トリミング実習Ⅱ	単位数	9	科目コード				
授業形態	演習	時間数	270	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬種や年齢、ライフスタイルなどに応じた様々なカットを理解し、実施できる。 ペットクリップを習得する 検定：一般社団法人 全国動物専門学校協会（ＡＡＶ）トリマー１級							
授業の一般目標								
受講条件	ペット総合学科２年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	ＪＫＣ：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	犬種ごとのカットスタイルを理解している							
☑ 思考・判断の観点	個体に合わせたカット方法でカットができる							
☑ 関心・意欲の観点	様々な犬種に対して積極的である							
☑ 態度の観点	積極的に実習を行えている							
☑ 技能・表現の観点	個体に合わせたスタイルを考えることができる							
授業計画（全体）								
シャンプーなどの基礎的な準備作業から仕上げまでを１人でこなす。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
１～３４	１人で複数頭の犬を仕上げるができる							
成績評価方法								
１ 演習による評価								
２ 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
３ シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
４								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト								優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度								可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品								不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、Ｆ
出席				○			欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	ビジネスマナー	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	就職活動に役立つよう、敬語を正しく使い、感じの良い音声表現ができるよう指導する。1年生次に学んだ電話対応のマナーを復習させ、必要な電話対応ができるようにさせる。文書通信のマナーを会得し常識的で基本的な通信ができるよう定型文や言葉づかいを理解させる。							
授業の一般目標	就職活動に必要な電話対応、文書の通信のマナーと基礎的な技能、社会人としてのビジネスマナーが身につける。							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について(テキスト・参考書等)	教本『これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナー』、学習プリント、電話対応機							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	テキストや学習プリント教材の基本的な内容を読み取ることができる							
☐ 思考・判断の観点	基本的な知識を元に、自分の言葉でその場に応じた表現することができる							
☐ 関心・意欲の観点	マナーや電話対応などの技能の必要性を理解し、会得したいという気持ちが表れている							
☐ 態度の観点	授業中に私語、居眠りをせず、積極的に取り組む姿勢を示すことができる							
☐ 技能・表現の観点	基本的な知識を元に、電話応対実践や模擬面接などで適切な対応、音声表現ができる							
授業計画(全体)								
1年次に履修した『実践ビジネスマナー』を前提にビジネスマナーを再度確認させる。『これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナー』の単元について講義し、就職採用面接の意義を理解し、面接の流れを把握し、対応の言葉を考え、就職面接に活かせるようにする。また、就職活動に必要な電話対応ができるよう、場面に応じたロールプレイングに取り組ませる。さらにメールや文書のマナーを学び、好ましい文書の通信ができるよう練習させる。また、卒業後の社会人生活で社外でも役立つ冠婚葬祭の基本的マナーも会得してもらう。講座最終日に学習範囲の試験を実施する。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第1部 IV電話応対(電話の基本、かけ方のマナー)							
3～4	第1部 IV電話応対(電話応対実践)							
5～6	第1部 IV電話応対(電話応対実践)							
7～8	第1部 IV電話応対(電話応対実践)							
9～10	第2部 VI企業訪問(企業訪問の意義とマナー)							
11～12	第2部 VII面接試験(面接試験の意義とながれ)							
13～14	第2部 VII面接試験(オンライン面接)							
15～16	第2部 VII面接試験(実践練習)							
17～18	巻末資料 ビジネス文書、礼状の書き方(礼状)							
19～20	巻末資料 ビジネス文書、礼状の書き方(内定後)							
21～22	巻末資料 ビジネス文書、礼状の書き方(辞退の際)							
23～24	招待状返信のマナー (披露宴に招かれたら)							
25～26	冠婚葬祭のマナー (金子包みのマナー)							
27～28	期末試験							
29～30	試験振り返り							
成績評価方法								
1 出席状況、授業中の姿勢								
2 学習プリントの記入内容が適切かどうか、文字は丁寧かどうか								
3 電話応対や面接のロールプレイング等、実技の取り組みの姿勢								
4 期末試験の得点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						60%	秀、S(4):90点以上
小テスト		○					10%	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○					10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○				5%	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習				○	◎		15%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	(公・財)日本電信電話ユーザ協会 電話応対技能検定指導者級保持者、(一・社)日本ホテルレストランサービス技能協会 食卓作法認定講師として、企業研修などに当たる。			